

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~8日	1月 ~15日	1月 ~22日	1月 ~29日	2月 ~5日	2月 ~12日	2月 ~19日	2月 ~26日	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	13	18	13	17	21	13	13	21	19	13	21	27	18
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	21	30	29	27	36	24	26	19	27	30	20	12	13
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	2	2	0	2	4	1	2	4	4	2	2	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	4	4	5	3	5	5	5	4	4	2	4	3	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	2	4	1	0	2	0	2	0	3	3	2	0	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第13週(3月27日~4月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			1			1	
三類	0	発生なし	0							
四類	17	レジオネラ症	17	1	1	8		2	4	1
五類全数	4	侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	3					1	2	

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東 … 竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部 … 三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部 … 三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第13週 3/27~4/2)

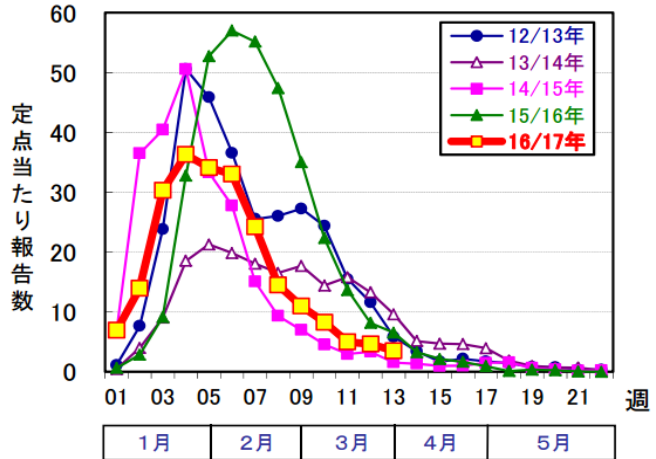
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり3.53人と、前週と比べてやや減少しました。例年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き、感染予防対策を心がけましょう。

市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が46人、B型陽性が9人報告されており、第11週(3月13日~3月19日)以降、B型が増加しています。また、広島市衛生研究所による遺伝子検査の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が1件、A(H3)型が27件、B型(ビクトリア系統)が2件、B型(山形系統)が1件検出されています(4月2日現在速報値)。

インフルエンザの流行状況



2. 感染性胃腸炎

定点当たり4.39人の報告がありました。例年同時期と比べて少ない状況が続いていますが、感染性胃腸炎の集団発生が第13週に1件報告されています。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	127	3.53	5.26	↗	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.73	
小児科	咽頭結膜熱	7	0.30	0.30	↓	眼科	RSウイルス感染症	6	0.26	0.12	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.22	1.69	↗		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	101	4.39	8.70	↗		流行性角結膜炎	4	0.50	0.48	
	水痘	8	0.35	0.71		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	13	0.57	0.13			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.16			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11	
	突発性発しん	4	0.17	0.30			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	2	7	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	11	女性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.5) 頭痛 鼻炎 関節痛	7	女	2017/02/21	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	8	女	2017/02/21	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載